



# Newsletter

vol.32

ボランティア養成講座 ●

ぴあかも日記番外編 ●



パオの  
現いま

## ボランティア養成講座

2016年度のボランティア養成講座が、平成29年2月11日(土)、18日(土)の2日間、東生涯学習センター(11日)、イーブルなごや(18日)にて実施されました。

これまで7コマの講座を平日の夜に毎週1コマずつ実施してきましたが、今年度は土曜日2日間で同じプログラムを圧縮して行いました。

新聞などを見て集まった社会人や学生ら8人が参加してくれました。最初に基調講演として、元愛知県児童相談所長などを歴任した加藤俊二さんに、子どもの発達や子ども観の話から子どもの存在をどう捉えるかについてお話いただきました。また、児童虐待の現状や支援の方法のほか、「子どもセンターパオが目指すもの」についての講義の後、最後はグループワークに取り組んでもらいました。盛りだくさんの2日間でした。

子どもたちを支えるパオの活動にはさまざまな役割があります。そのときそのときの子どもの状況によって対応を変えざるを得ませんが、皆さんの力を活かしていただくような支援をお願いしていきたいと思っています。(研修担当)



今回、研修を受けた名古屋大学法科大学院の院生 畠山紗矢香さんに講座の感想を寄せてもらいましたのでご紹介します。

パオのボランティア養成講座に参加させていただいて、パオの設立過程や活動内容、子どもたちの暮らす「ぴあ・かもみーる」のこと、子どもの支援で大切なことなど、多くのことを知ることができました。そしてぴあ・かもみーるのスタッフやパートナー弁護士、社会福祉士などさまざまな立場の方がそれぞれの角度から連携して支援を行っていることがわかりました。実際に日々子どもたちと接している方々のお話を聞いて、虐待などで傷ついた子どもたちと関わっていくことは難しい問題も多いけれど、真摯に子どもたち一人一人と向き合うことが大切だと感じました。

講座の後半には、ぴあ・かもみーるで起こりそうな場面を想定したロールプレイングを行いました。何か問題が起こったときに、どのように子どもに対応すればよいかを考えるのは難しかったですが、他の参加者さんとお話することもでき楽しかったです。

今回の講座を通して、自分が将来、子どもの支援にどのように関わっていきたいかを具体的に考えるきっかけになりました。なかなかすることのできない貴重な体験となり、参加してよかったです。

